

この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



やさしい畑 ^{アイ} i m a k e
土屋 ^{つちや} 明美さん (中山在住)

『顔が見える生産者』として
安心と美味しさにつなげていきたい。



土屋さんは、福島県国見町の出身で、結婚を機に白鷹町へ移住しました。実は、土屋さんは元々トマトが大の苦手だったそう。変化のきっかけは、近所のトマト農家さんから、ケースいっぱいトマトをいただいたことでした。困惑しながらも、いただいたものを無駄にはできないと一口…。すると今まで味わったことのない美味しさに出会い、一瞬にしてトマトに惹かれました。「なんでこんなに美味しいのか、気になって実際に農家の方の畑に伺いました。その時に、汚れながら働く姿がとてまかつこよくて、『私もトマト農家になりたい』と思ったんです」と当時を振り返る土屋さん。

トマトの美味しさの秘訣をお聞きすると、「特別なことはしていません。これまで糖度を上げたり、皮を薄くするために試行錯誤をしてきましたが、好みは人それぞれで、それに合わせるのは難しかったです。だから、作る側としてはシンブルに育て、あとは中山という土地の『地力』に任せています」と

最高に美味しい瞬間を
皆さんにお届けします！



話しました。また、購入してくださる方とのコミュニケーションをとにかく大事にしており、『顔が見える生産者』であるがゆえの信頼関係こそが、安心と美味しさにつながっているようです。

トマト栽培以外にも、農業体験やワークショップを、地域の方や学生の方に手伝っていたりしながら積極的にを行っている土屋さん。その理由を伺うと、「町外に町の魅力を伝えるのも大切ですが、地域の方々にも、この町の良さを再認識していただくことが何よりも大切だと思うんです。だから、私なりにできることを精一杯やっていきたいです」と、地域づくりにかける思いを語ってくれました。